

こころ
め
心の目

2002年 7月 15日 (月)

山口小学校 3年 1組 学級通信 No.27

親子ウォークラリーの評価について

親子ウォークラリーにご参加くださいまして、誠にありがとうございました。あいにく小雨模様でしたが、何とか最後まで実施することができました。問題制作者に答え合わせをさせるという方法をとったので、時間がかなり延びました。申し訳ございませんでした。

もう少しこの学習は続くのですが、ほとんどの方に参加いただいた「生活動」が一応の終わりを見たので、ここで、この学習の評価をしていただきたいと思います。

以下の質問事項にご記入いただき今週中にご提出ください。無記名ですので、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

評価していただく前に、この学習のねらいとおよその流れについて再記しておきたいと存じます。この学習は、本稿の総合学習の「ふるさと」という領域の中の「公共物・公共施設」という小項目に属している単元です。

【子供たちのこの学習の目標は次の二つです】

学校の周りの公共施設のことを友達や家の人に伝えるために、その施設を進んで調べ、その特徴やよさを用いてウォークラリーの問題を作ることができるようにする。

身近な地域の様々な公共物・公共施設に関心を持ち、それらのよさや維持している人たちのよさを感じ取ることができるようにするとともに、今後の生活で活用していこうとする気持ちを育てる。

【教師が子供たちの学習の善し悪しを見取るときの観点は次のようなものです】

関心・意欲・態度・学校のまわりの公共施設に関心を持ち、そのよさに触れ合い、伝える方法の一つとしてウォークラリーを親子で楽しむ。

学び方……学校の周りの公共施設を繰り返し見学したり、聞き取り調査をしたりして、みんなで楽しめるウォークラリーをつくる。

見方・考え方……学校のまわりの公共施設の特徴が具体的にわかり、ふるさとのよさについて考える。

【この単元の子供の気持ちを書き上げるとすると次のようになります】

白石地区親子ウォークラリーの計画を立てよう・18M(6)

Mはモジュール数 ()は通常の45分での学習時数

社会科で学校の周りの秘密を調べたね。いろいろなことがわかって楽しかったよ。公共施設の秘密を問題にして、ウォークラリーを作って、おうちの人と一緒にやろうよ。賛成！まずは、どの施設を選んで問題にするか計画を立てよう。ウォークラリーのやり方も決めなくてはね。まず下見をしよう。いい問題を作るために、もう一度見学・調査だ！

公共施設を見学・調査して、ウォークラリーをつくらう・45M(15)

問題を出し合うために、初めに二つの大きなグループに分かれよう。ぼくたちは、消防署の秘密を調べて問題を作るよ。私たちは、市役所で働く人のことを問題にしたいな。そのほかのグループは、美術館、図書館、博物館、県政資料館、埋蔵文化財センター、歴史民俗資料館を調べているんだね。働いている人にインタビューして楽しい問題が作れたよ。コースをきちんと決めよう。学校の周りはおともいいところばかりだね。一生懸命働いておられたよ。おうちの方に招待状を書こう。

白石・大殿地区親子ウォークラリーをしよう……12M(4)

いよいよウォークラリーの本番の日だね。わくわくするよ。僕たちのグループは初めに出発するグループだよ。第1チェックポイントは、消防署だね。美術館の美術品に詳しい人、学芸員という人が働いている人がおられるんだね。知らなかったよ。……いよいよゴール。楽しかったな。こんないいふるさと白石の町、それぞれの公共施設をこれからも大切にしていかなければいけないなあ。図書館や美術館、博物館などは、これからも利用していきたいね。